

ひたちなか市男女共同参画啓発紙

第33号

2022.9

編集/発行

ハーモニーひたちなか  
ひたちなか市女性生活課

# かがやく

ハーモニーひたちなか

“笑顔が  
かがやく”



紙袋でパペットを作ったり、ファミリー農場わたなべさんでジャガイモ掘りをして、親子で楽しい時間を過ごしました。ハーモニーひたちなか加入団体である「おやこ劇場ゆめひろば」では、舞台鑑賞、体験活動をしながら、たくさんの親子が集うことで生まれる育ちあいや一体感を大切にしています。



▲  
活動については  
こちら



# 制限をチャンスに変える!これからの働き方

講師である岡崎社長の話の中で、自分と向き合って“自分のできることは?”“これって誰かの役に立つこと?”と、めげずに自分らしさを追求する姿は素敵だ!!と思いました。

いかにして自分を生かしていくのか。〇〇さんの奥さんだけでなく、〇〇ちゃんの、〇〇くんのママだけでなく『自分は自分、自分は1個の人間だよ』という発信は、勇気のいることと思うし、自分としっかり向き合わないと、継続は難しいと思いました。

無理せず、周囲に納得の共感を得ながら、自分の『強み』を求めて、しっかり向きあいたいと感じる講座でした。

日時：6月8日、15日(全2回講座)

講師：大人の女子校(株) 代表取締役 岡崎 知美さん



講座の様子

大人の女子校(株)  
のHPはこちら▼



## CAP公開おとなワークショップ




日時：5月28日 場所：赤塚ミオス

主催：認定NPO法人水戸子どもの劇場

今回CAP公開おとなワークショップ取材しました。CAPプログラムで、子どもたちはクラスごとに暴力という怖いテーマや人権について学びますが、プログラムには子どもたちを怖がらせないよう、楽しく進める工夫がされています。その学びをより実効性のあるものにするため、子どもたちが学んでいるものをおとなたちも理解し、保護者として子どもたちの話を聴けるおとなとして受け止めてほしいという思いから、「おとなワークショップ」は開催されています。

この日のワークショップは参加型で、進行役がポイントです。参加者から感想や意見を引き出し、また、参加者同士での話し合いを促して、話した結果も発表しながら進めました。参加者は話を聞くだけでなく、劇を見て発言したり、劇に友達役で参加したりするのですが、発言しないという選択もできるので、参加者はリラックスした姿勢でワークショップに集中している様子でした。

### 参加者の声

-  安心・自信・自由の3つの権利が奪われそうになる⇒暴力だということを感じておこうと思いました。家庭を子どもが話しやすい雰囲気にしたかったです。
-  意識して子どもの権利について考える機会を作ること、大変意義のあることだと思うので、参加させていただいて良かったです。自分が子どもの頃は、このような講座を受けたことがなかったので、地域の小学校でこのような講座を子どもたちが受けられれば、より次世代の意識が変わっていくし、皆が生きやすい世の中になると思いました。
-  最後の親と子のロールプレイでは、子どもはこんな気持ちで親に話しているのだ、と気づかされました。



### CAPとは?

子どもがいじめ・虐待・体罰・誘拐・痴漢・性暴力など様々な暴力から自分の心とからだを守る暴力防止のための予防教育プログラムです。



ワークの様子

# ハーモニーひたちなか総会開催

日時：5月17日 場所：ふぁみりこらぼ303研修室



5月17日(火)、ふぁみりこらぼにて、ハーモニーひたちなかの総会が開催されました。総会は、2年ぶりの開催でしたが、議題は無事承認され、総会後は研修会を行いました。

新型コロナ感染の影響はありつつも、今年度は会員研修会や消費生活＋ハーモニー展、ハーモニーひたちなかフォーラムなど、感染対策をとりながら実施する予定ですので、昨年度よりも活気のある一年になりそうです。



## 研修会「エシカル消費とフェアトレード～女性の自立を目指して～」

エシカル消費？ フェアトレード？私にとって初めて聞く言葉でした。エシカルとは人・社会や環境に配慮した考え方や行動することで、その考え方に基づいて消費行動をすることをエシカル消費ということを知りました。「もったいないの考え、思いやりの心から、使う責任、作る責任が生じてくる」と松本さんは話されました。

コスト削減をするために、安い賃金で幼い子供たちが、カカオ農園で働いている様子が映像で紹介されました。消費行動が働き方にもいろいろなかたちで結び付いているとのことでした。

消費行動の在り方は、環境にも影響しているようです。着る機会がなくなった着物や使わなくなったネクタイなどを利用してリメイクした服やバックを紹介しながら、消費のあり方を工夫する大切さを話されていました。いざやろうとしても誰もがすぐにできるものではありませんが、毎日の消費行動がいろいろなところで影響を及ぼしているということに思いを寄せ、一人ひとりが出来ることから始めることが、今社会が目指しているSDGs（持続可能な開発目標）に繋がることになるのではと思います。今回の講座は自分の日常生活を振り返り、見直そうと思う機会になりました。

ハーモニーひたちなか顧問  
松本 由美子さん



## フェアトレードに協力するためには…

フェアトレードとは、寄付や物質的な援助でなく、経済的・社会的に弱い立場にいる人たちがその働きに見合った賃金が受け取れるよう、適正（フェア）な価格で継続的に取引をしていくことによって、途上国の持続的な向上を支えていく仕組みです。フェアトレード商品には、チョコレート、コーヒー、紅茶、綿や羊毛製品、サッカーボール、カレースパイスなどがあります。買い物でフェアトレード商品を選ぶことは、間接的に途上国の生産者を支援し、エシカル消費の実践につながっています。



実際のフェアトレード商品



▲ このマークが目印

詳しくはこちら▼



フェアトレード  
ジャパンHP

# 男女共同参画団体活動紹介

## ～ひたちなか市更生保護女性の会～

### 団体紹介

犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支援するとともに、立ち直りを温かく見守ることができる地域づくり、また健全な子どもの育成を目的とした子育て支援などが主な活動です。

### 市内小学校であいさつ運動

「おはようございます！」トレードマークのピンクのジャンパーを着て、月に一度、市内の小学校の校門の前で子どもたちに声をかけています。それぞれ地域の会員が声かけ・あいさつ運動をはじめから、9年目。始めたばかりの頃は、見知らぬおばちゃんの声かけに戸惑う子どもたちでしたが、回を重ねるうちに、笑顔で返してくれるようになりました。「子どもたちの笑顔と安心、安全な地域づくり」が私たちの願いです



### こどもふれあい館

#### 「子育てサロンひだまり」にて

6月23日、ふぁみりこらぼ子育て支援センターより出前保育の方に来ていただき、手遊びや運転手さん遊びなど、親子8組楽しく遊びました。



## 11月は男女共同参画強調月間です!

### ■令和4年度消費生活 ＋ハーモニー展

期間：11月5日～6日

産業交流フェアと同時開催

### ■男女共同参画 強調月間パネル展

期間：11月19日～25日

場所：ひたちなか市役所市民ホール

### ■ハーモニー ひたちなかフォーラム

期間：11月17日

講師：(株)茨城放送アナウンス室長  
菊地 真衣さん

場所：ワークプラザ勝田



「受け継ぐもの、手渡すもの」  
先月我が家に新しい命がやってきました。初孫です。  
これがもう可愛くて、驚くことにお座布団に収まってしまっようなほどの小さな存在が、泣いていようが暴れていようが、周りを笑顔に変えていくのです。なんとというパワーでしょう。  
そして生まれる前から、この子はスマホのアプリで子育て補助をされています。令和の子育てにびっくりしながらも、ばあばは保育のためこのアプリを共有しているのです。(笑)  
それでも伝統ののっとり、先日はお宮参りに行ってきました。娘が着たのは私の単衣の着物で、これは私が母親からもらったもの。写真に写るのは曾祖母から四世代!この着物も大切に扱えば、やがて孫娘が着るのかも。  
伝統とは良きものを時代に合わせ柔軟に変えつつ受け渡すもの。そして引き継ぐものに誇りと責任をもつことなのですね。

(M・S)



### 編集後記

「かがやく」の  
バックナンバー  
はこちら

